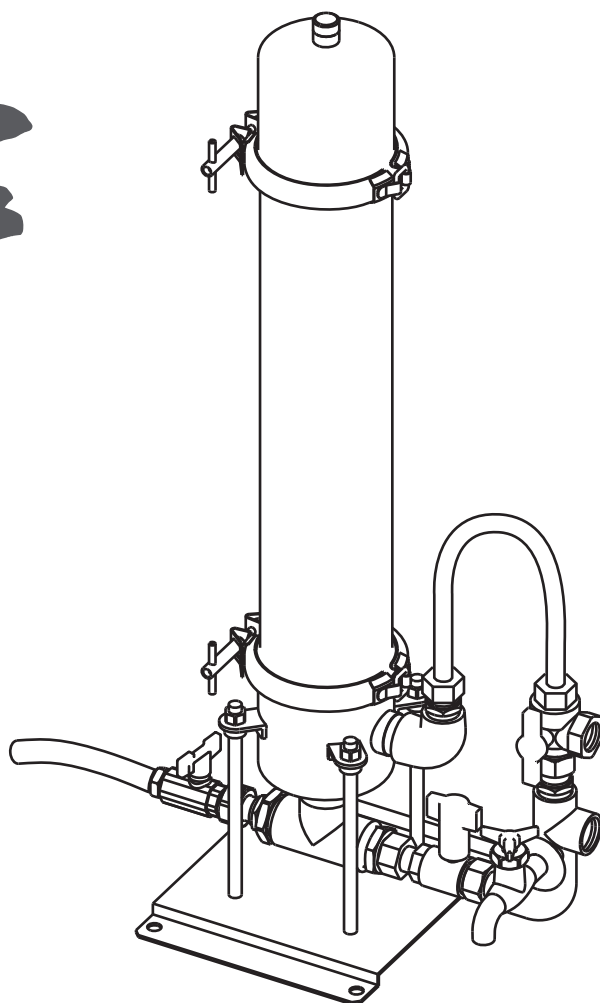


施工説明書

FFC 元始活水器 戸建て用



< 工事をされる方へのお願い >

施工説明書をよくお読みいただき、正しく安全に施工してください。

本書に記載されていない方法で施工された場合の事故・故障などは保証対象になりませんので、ご注意ください。施工完了後、本書を取扱説明書と一緒にお客様にお渡しください。

本体を保護している発泡スチロールは本体の保温材です。
施工後に必要ですので捨てないでください。

もくじ

安全上のご注意..... 1～2

各部の名称・寸法図..... 3

同梱部品・必要な部材..... 4

施工手順..... 5～10

安全上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しく施工してください。



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容です。



注意

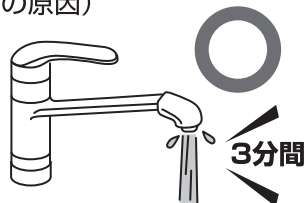
傷害や物的損害が発生するおそれがある内容です。



警告

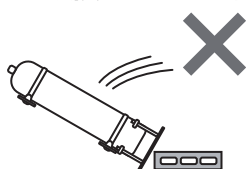
水道水の水質基準に適合した水を使用する
(体調不良の原因)

設置後やカートリッジ交換後は
使用前に3分間程度の捨て水をする
(体調不良の原因)



※取り付け工事による臭気・配管内のサビ・
ごみなどが出る場合があります。

本体はアンカーボルトで固定する
(転倒による破損・ケガの原因)

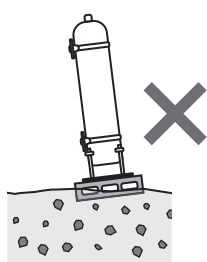


戸建て用の場合は、ブロックまたはコンクリート平板を設置しその上にアンカーボルトで固定してください。

施工方法 →P.6

満水重量(15kg)に十分耐えられる所に据え付ける

(転倒による破損・ケガの原因)



上水道直結の配管工事は
当該水道局(水道事業者)の
指定給水装置工事事業者が施工する
(破損・水漏れ・ケガの原因)



必ず実行



必ず実行



実行しなければならない強制の内容です。



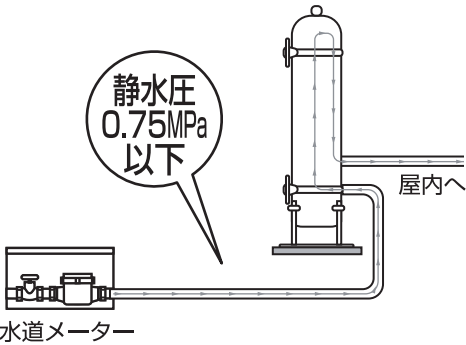
してはいけない禁止の内容です。

 注意

施工説明書に従って施工する
(水漏れの原因)

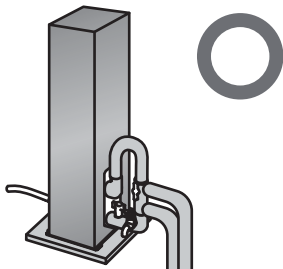
同梱部品および指定の部品を使用し
施工する
(水漏れの原因)

0.75MPa(静水圧)以下の水圧で
使用する
(水漏れの原因)

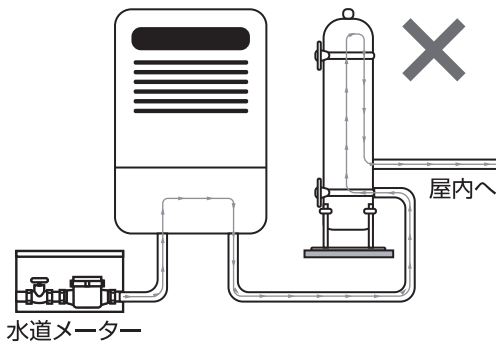


※水圧が高い場合、減圧弁を取り付けてください。

凍結防止を行う
(凍結による破損、水漏れの原因)

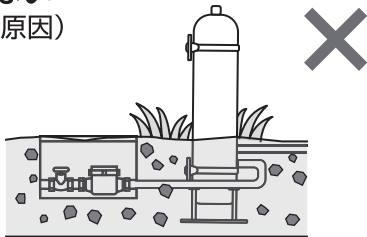


給湯システムの2次側には接続しない
(高温の湯による破損、給湯システムの
動作不良の原因)



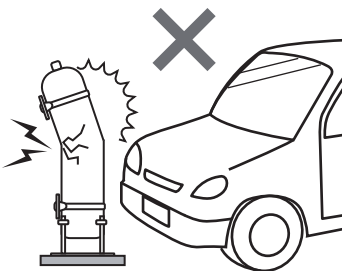
※40℃以上のお湯を通さないでください。

埋設しない
(破損の原因)



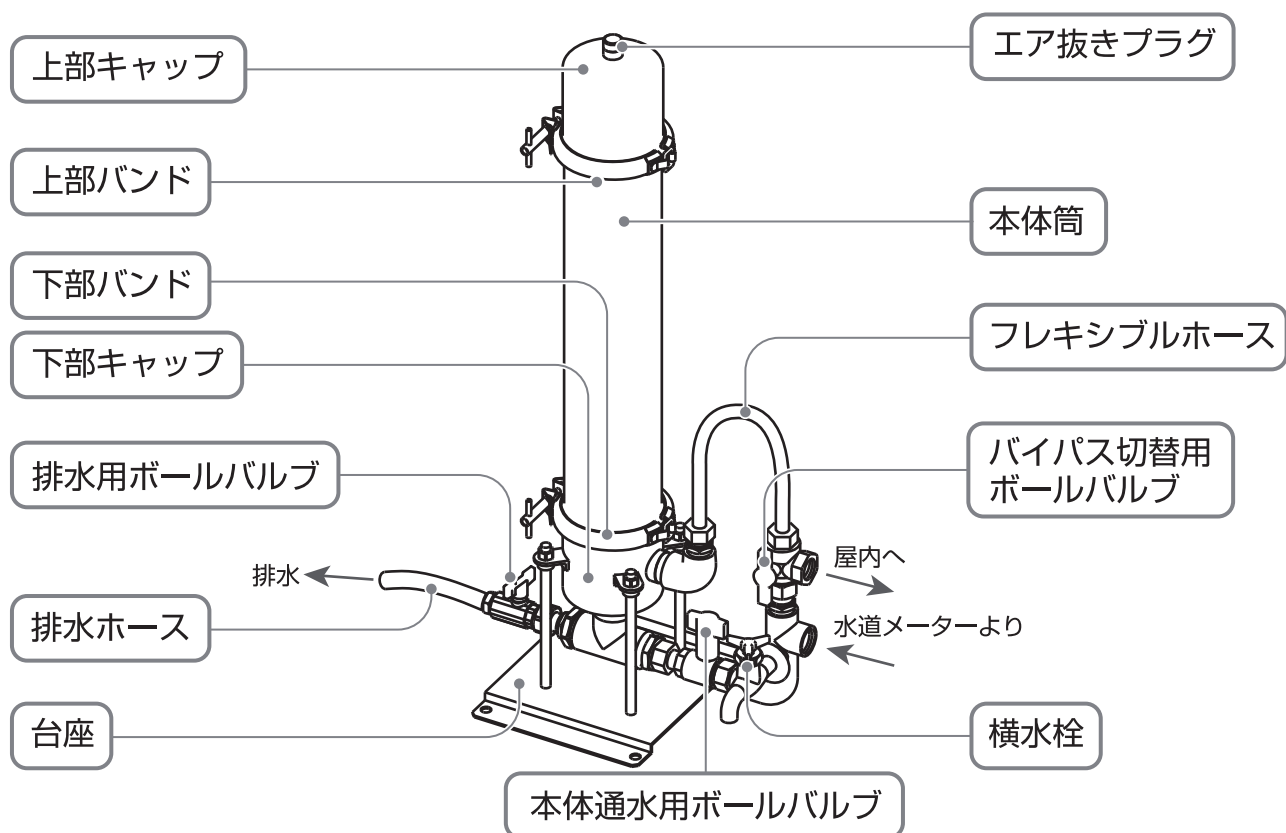
※地上設置として設計されています。

車などの出入りの多い場所に
設置しない
(破損・水漏れの原因)



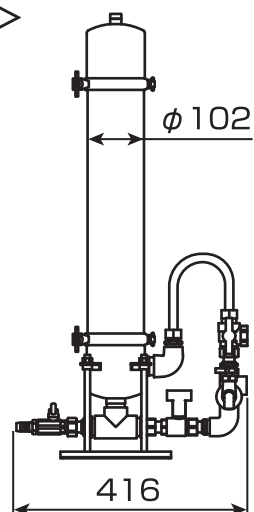
各部の名称・寸法図

各部の名称

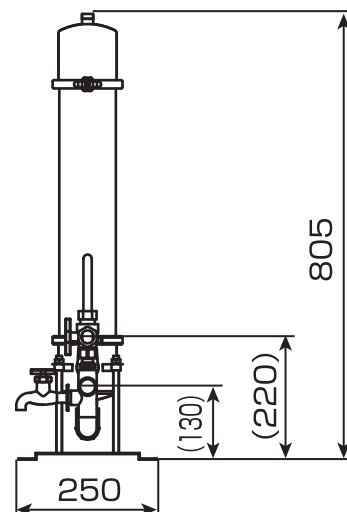


寸法図

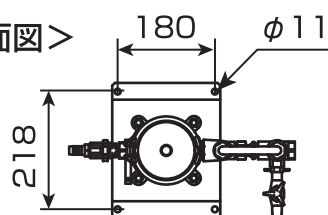
<正面図>



<測面図>

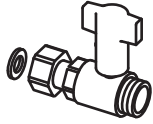


<上面図>

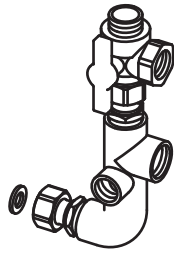


同梱部品・必要な部材

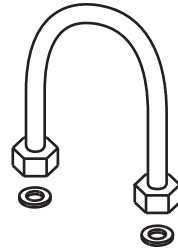
同梱部品



- ・本体通水用ボールバルブ
(逆止弁付き)
- ・パッキン 3/4



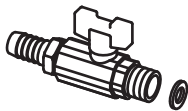
- ・配管キット
(バイパス切替用ボールバルブ)
- ・パッキン 3/4



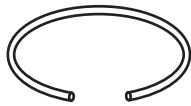
- ・フレキシブルホース
- ・パッキン 3/4 2個



横水栓



- ・排水用ボールバルブ
- ・パッキン 1/2



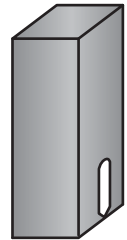
排水ホース



発泡スチロール保温材



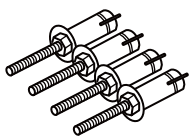
発泡テープ



本体保護用ビニールカバー

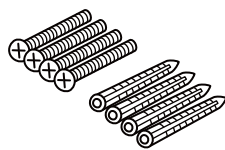
必要な部材

< 本体固定用部材 >



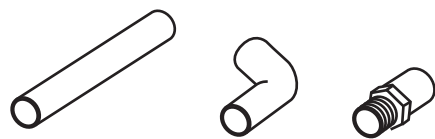
アンカーボルト
(4本)
<推奨> M10

または



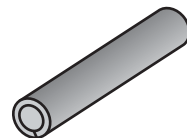
・コンクリートプラグ
・ビス
(各4本)

< 本管取り出し用接続配管部材 >

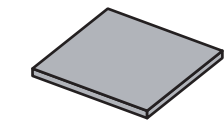


パイプ・継手など

< 保温材 >

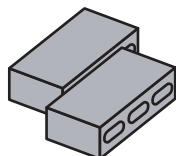


保温チューブなど



コンクリート平板
<推奨> 縦横 30cm
厚み 3cm 以上

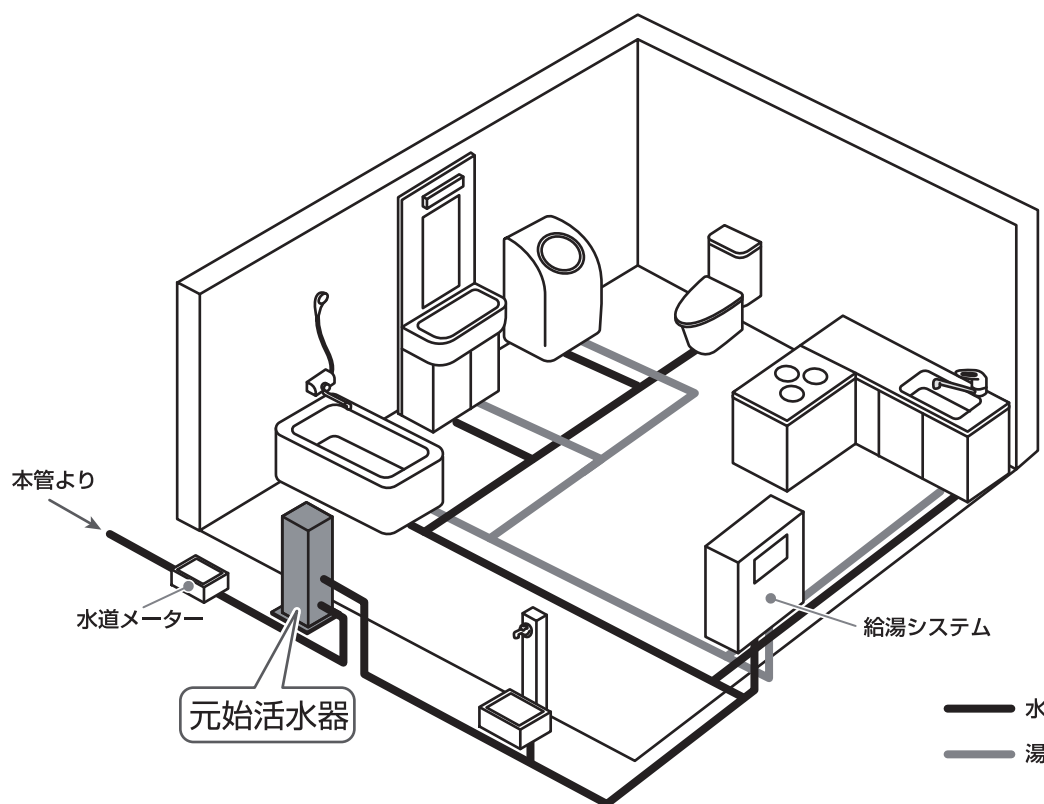
または



コンクリートブロック
(2個)

施工手順

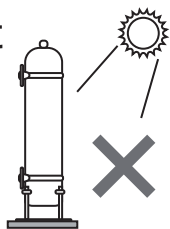
配管取り回しイメージ



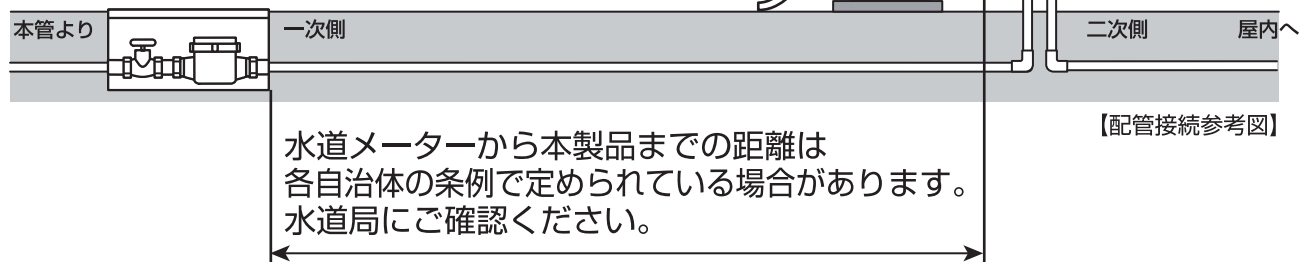
設置場所の確認

周囲に塀や建物などの壁がある場合はメンテナンス用スペースがあることを確認し設置してください。

本体に直接日光が当たる場所に設置しないでください。
(水温変動の原因)



200mm 以上
(カートリッジ交換用)



【配管接続参考図】

1. 配管を立ち上げる

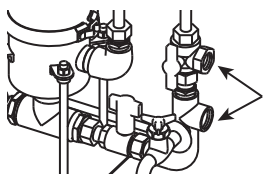
① 水道メーターの止水栓を閉める

② 二次側の水栓を開いて
配管内の圧力を開放する

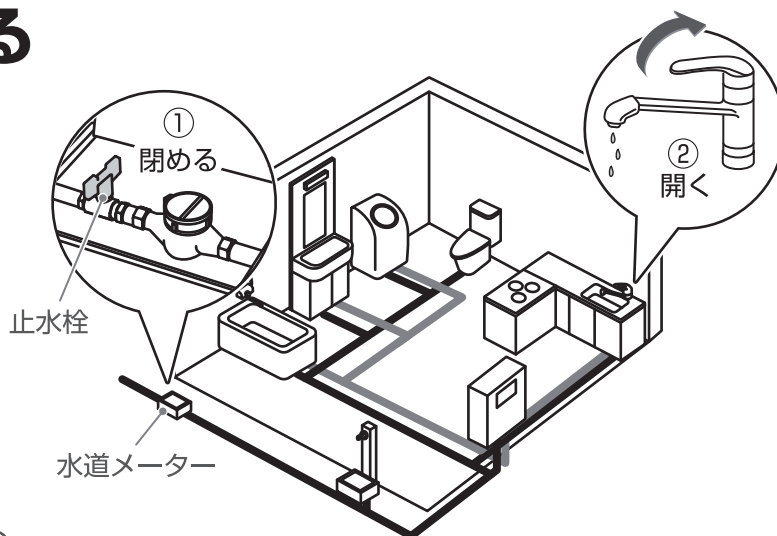
③ 配管を立ち上げる

●配管の長さは本体の接続口の高さを考慮してください。

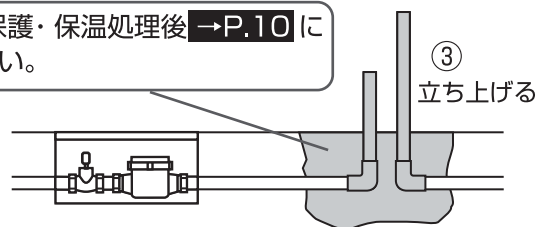
●本体の接続口径は20Aです。



接続口径 20A



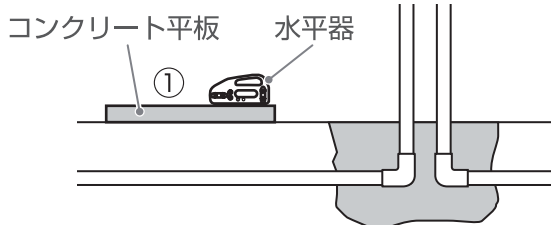
埋め戻しは保護・保温処理後 →P.10 に
行ってください。



2. 本体を設置する

① コンクリート平板またはブロックを
水平に配置する

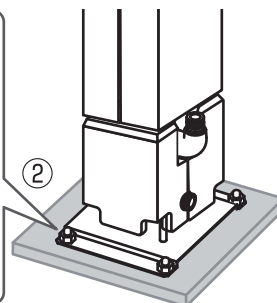
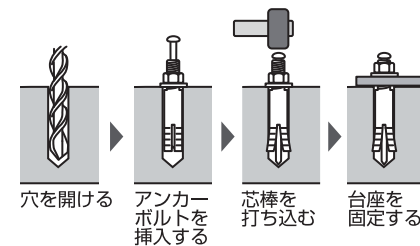
地面は水平に整地してください。



② アンカーボルトまたはコンクリート
プラグで本体を固定する

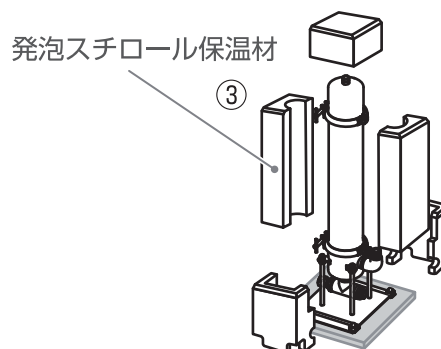
台座を固定するまで、本体の発泡スチロール
保温材は取り外さないでください。

<アンカーボルトの打設 (例)>



③ 本体の発泡スチロール保温材を外す

発泡スチロール保温材は廃棄しないで
ください。本体の保温材です。



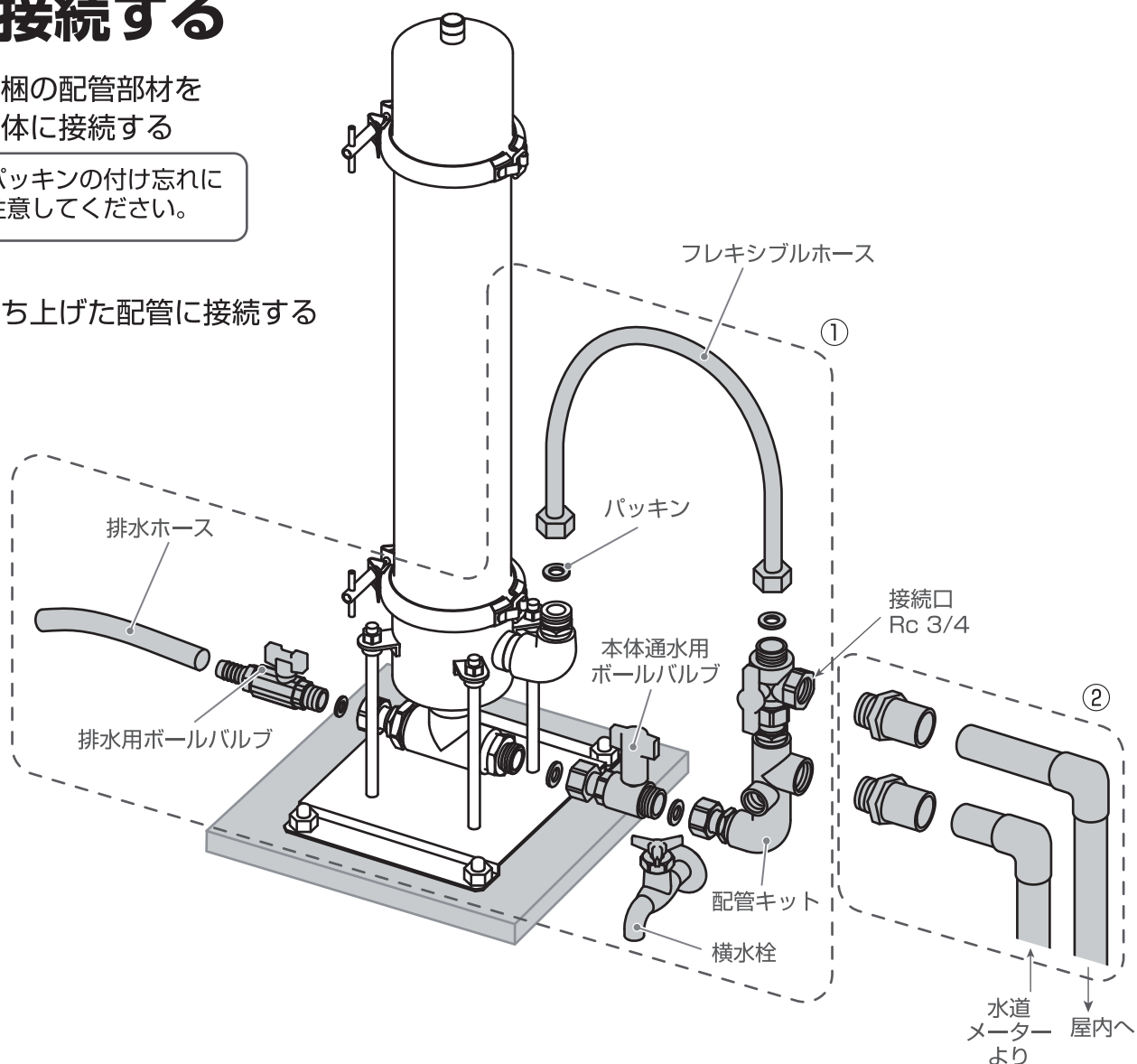
施工手順

3. 接続する

- ① 同梱の配管部材を
本体に接続する

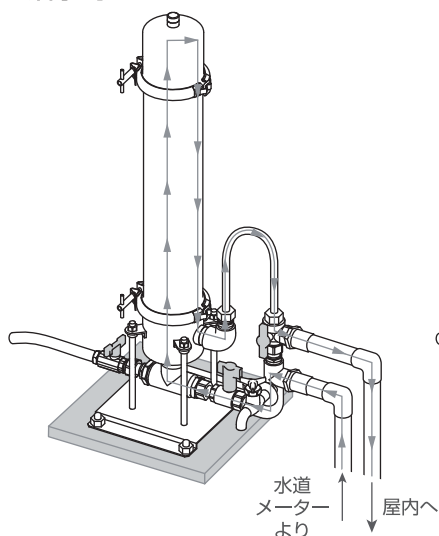
パッキンの付け忘れに
注意してください。

- ② 立ち上げた配管に接続する

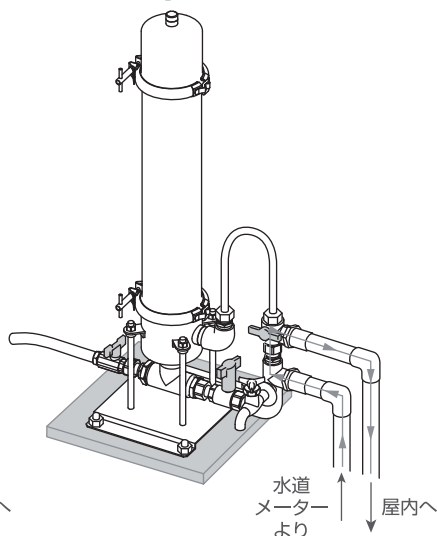


水の流れ※イメージ

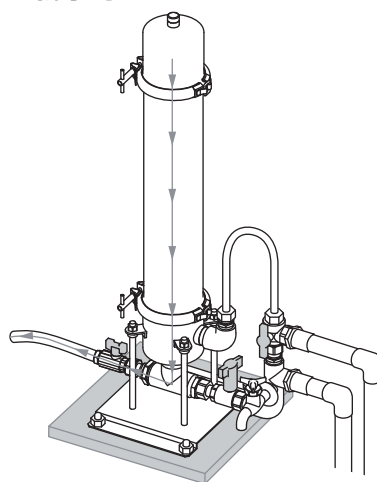
<活水時>



<バイパス時>



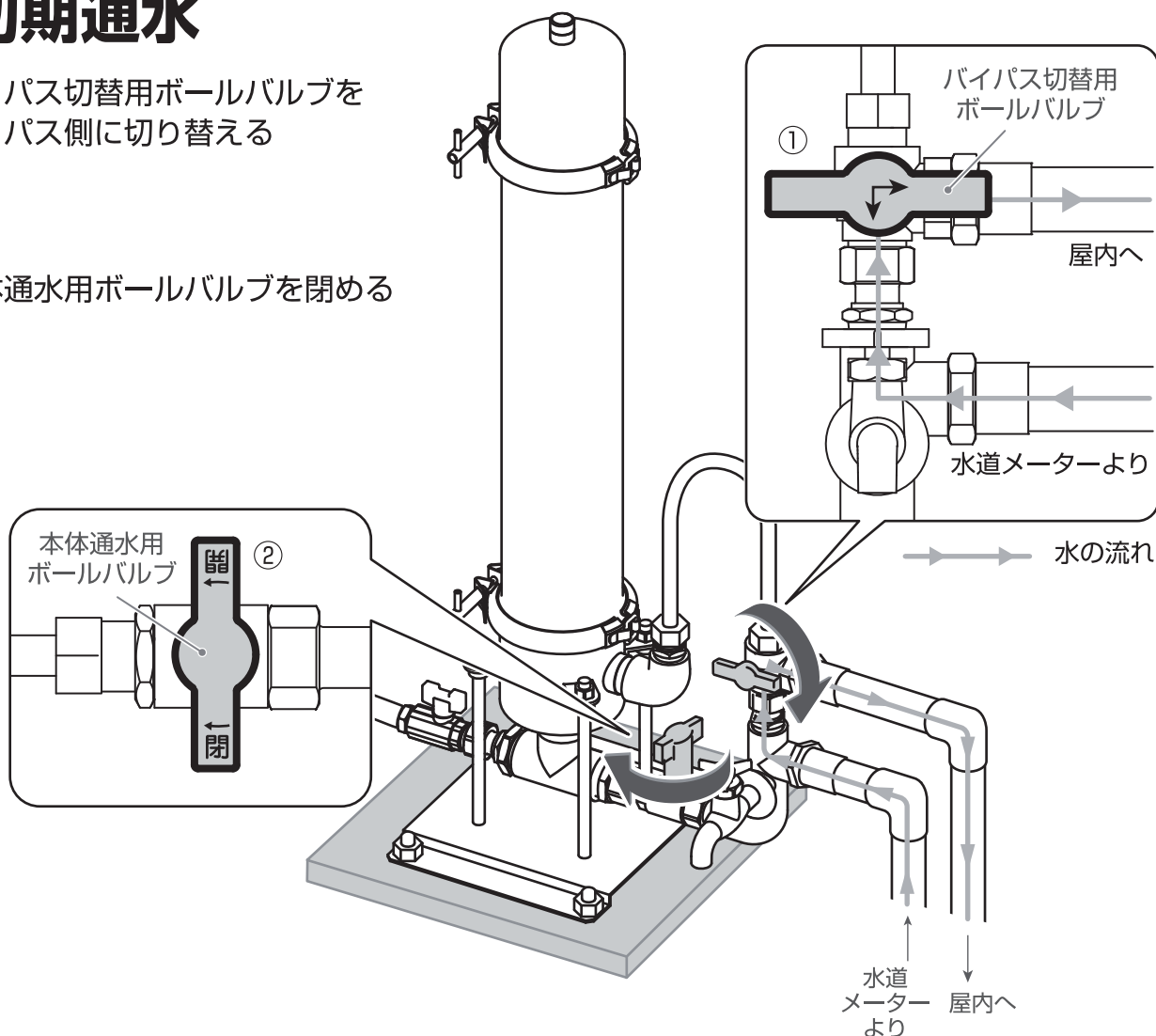
<排水時>



4. 初期通水

① バイパス切替用ボールバルブを
バイパス側に切り替える

② 本体通水用ボールバルブを閉める



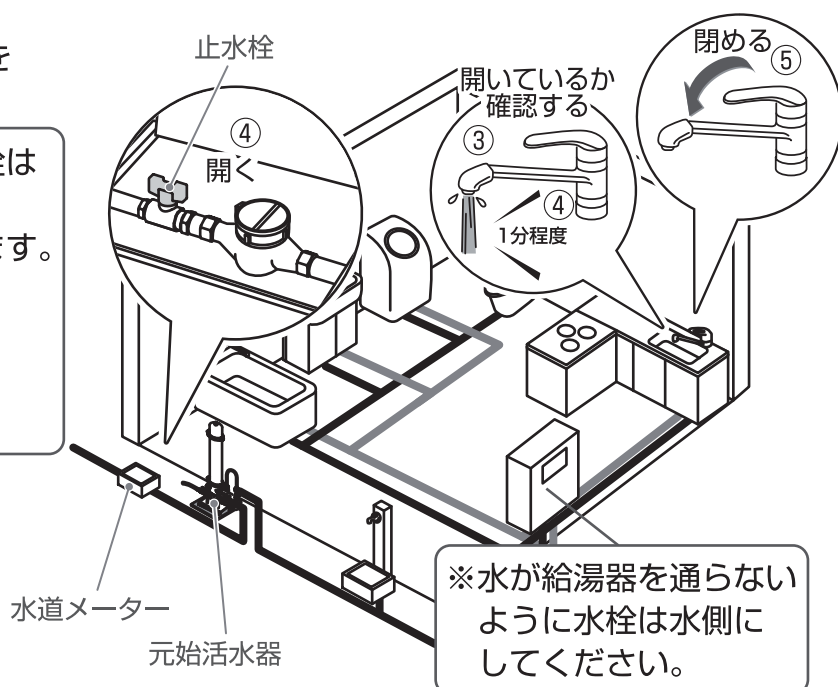
③ 二次側の水栓が開いていることを
確認する

水が給湯器を通らないように水栓は
水側にしてください。
※給湯器のゴミ詰まりを防止します。



④ 水道メーターの止水栓を開いて
1分程度水を流す

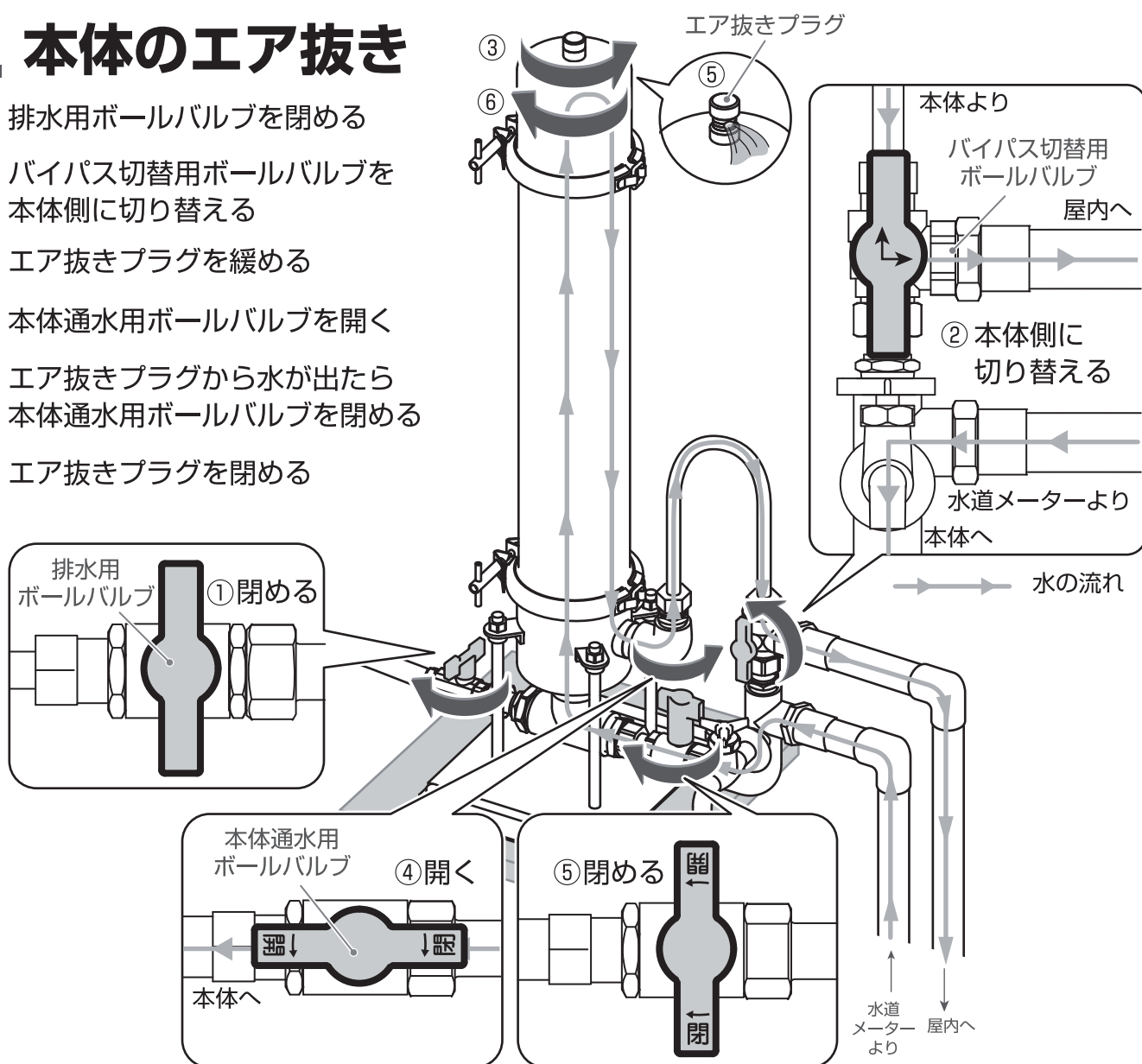
⑤ 二次側の水栓を閉める



施工手順

5. 本体のエア抜き

- ① 排水用ボールバルブを閉める
- ② バイパス切替用ボールバルブを本体側に切り替える
- ③ エア抜きプラグを緩める
- ④ 本体通水用ボールバルブを開く
- ⑤ エア抜きプラグから水が出たら本体通水用ボールバルブを閉める
- ⑥ エア抜きプラグを閉める

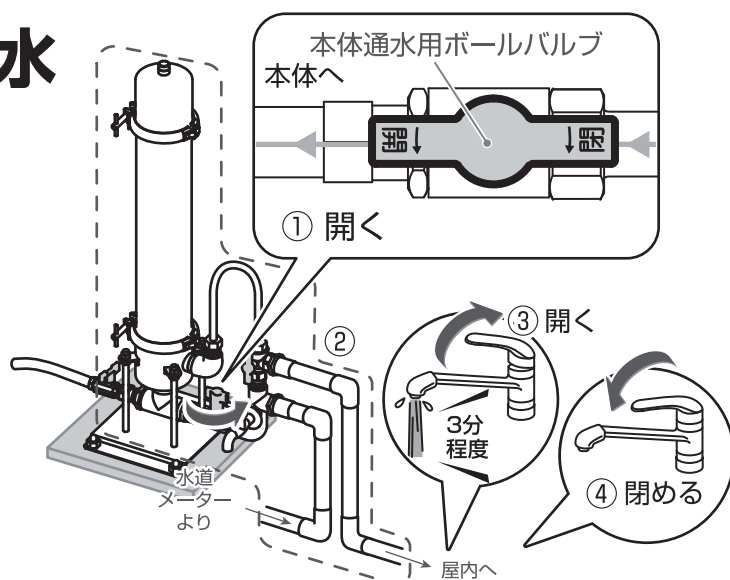


6. 水漏れの確認・通水

- ① 本体通水用ボールバルブを開く
- ② 全ての接続部から水漏れがないか確認する

水漏れがある場合は、再施工をしてください。

- ③ 二次側の水栓を開き3分程度通水する
- ④ 二次側の水栓を閉める



7. 保温処理



必ず実行

凍結防止処理を行う

(凍結による破損、水漏れの原因)

※凍結防止処理を行ってから、埋め戻しをしてください。



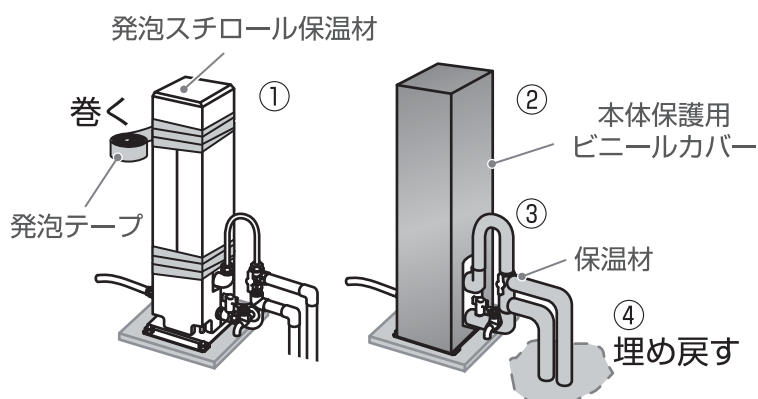
必ず実行

発泡スチロール保温材・本体保護 ビニールカバーで保護する

(凍結による破損、水漏れおよび製品の劣化などの原因)

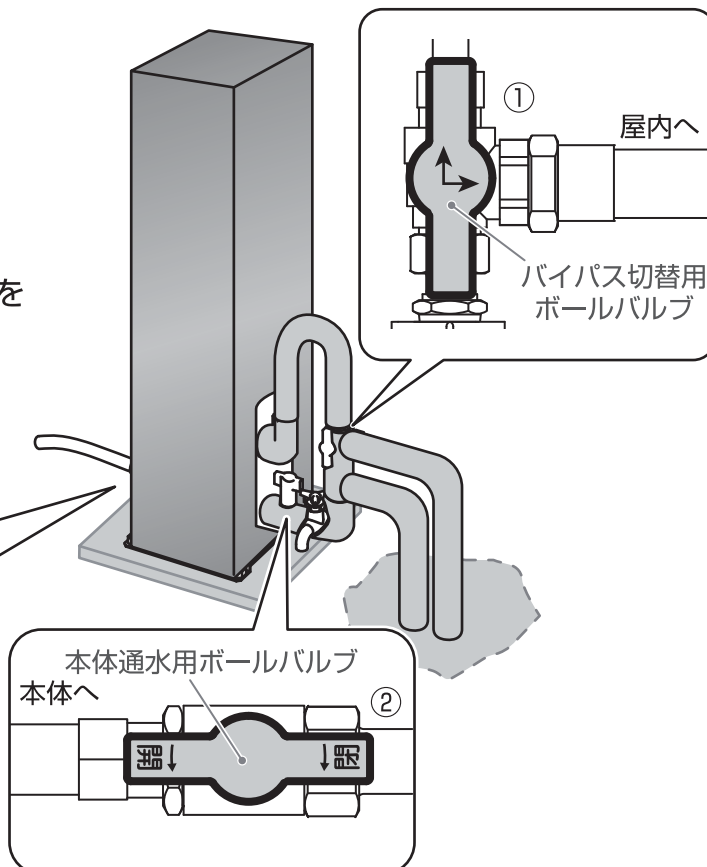
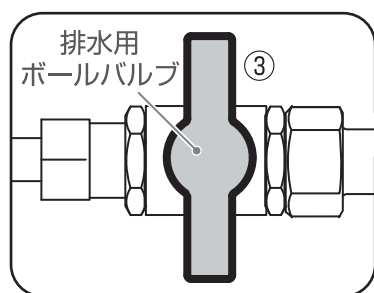
寒冷地においては・・・ 地域に応じて凍結予防処理を行ってください。

- ① 本体に発泡スチロール保温材を取り付け、発泡テープで巻く
- ② 本体保護用ビニールカバーを被せる
- ③ 配管に保温材を取り付ける
- ④ 掘削箇所を埋め戻す



8. 点検

- ① バイパス切替用ボールバルブが本体側になっていることを確認する
- ② 本体通水用ボールバルブが開いていることを確認する
- ③ 排水用ボールバルブが閉まっていることを確認する



発売元



株 式 会 社

赤 塚



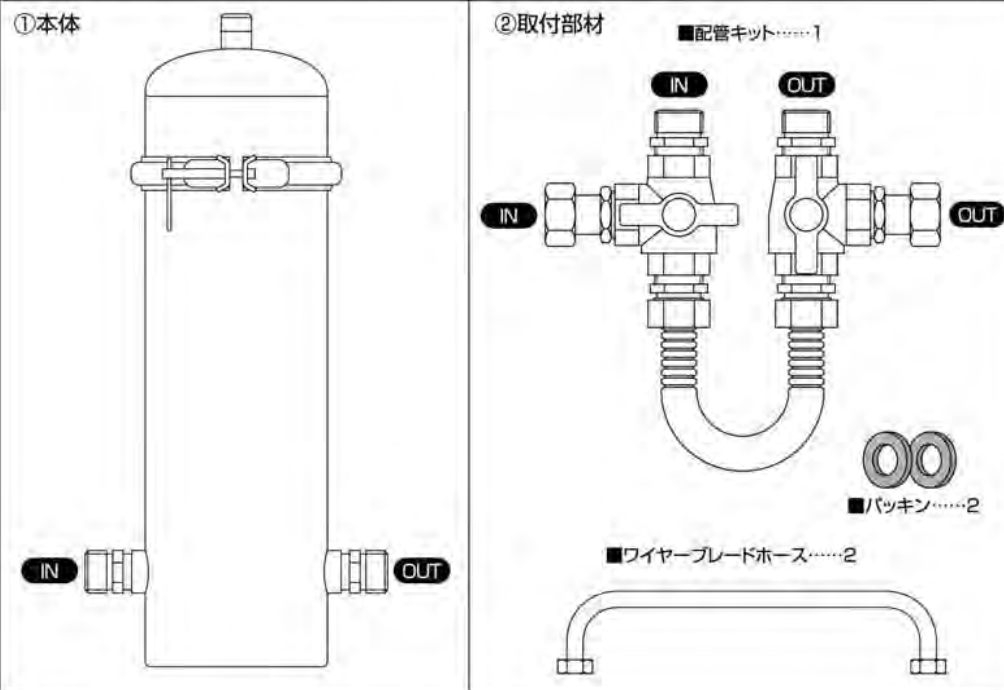
〒514-2293 三重県津市高野尾町1863-1
TEL(059)230-1310 FAX(059)230-1219

FFC_® 元始活水器

工事要領書

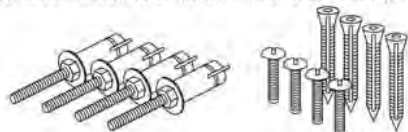
本製品を安全に正しく設置・ご利用いただくために、事前に必ず本書をお読みいただき、十分に理解し工事してください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、お読みになった後、いつでも使用できるように必ず所定の場所に保管してください。

1 開梱 (付属品の確認をしてください)



2 必要部材 (別途手配部材)

①アンカーボルトまたは、カールプラグとビス (各4本ずつ)



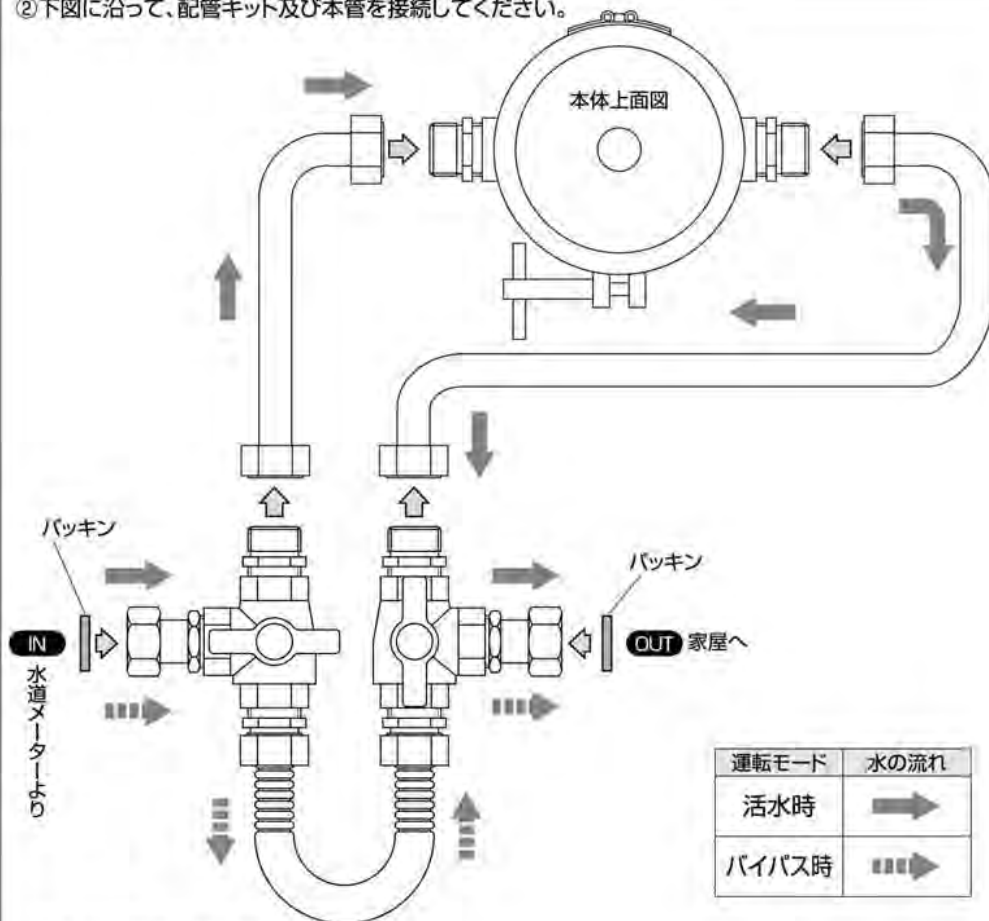
②本管取り出し接続配管部材 (パイプ・チーズ・エルボ等)

③保温材 (配管廻り) ※寒冷地は、凍結防止処置を行ってください。

3 接続工事

①水道メーター以後の本管に、接続してください。(20Aサイズまで可能)

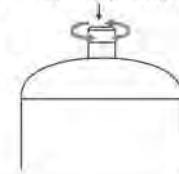
②下図に沿って、配管キット及び本管を接続してください。



※図のバルブ位置は活水時になります。

③水を通水して本体のエア抜きを水が出るまで行ってください。水が出たらボルトを締めてください。

このボルトをゆるめて、エアを抜いてください。



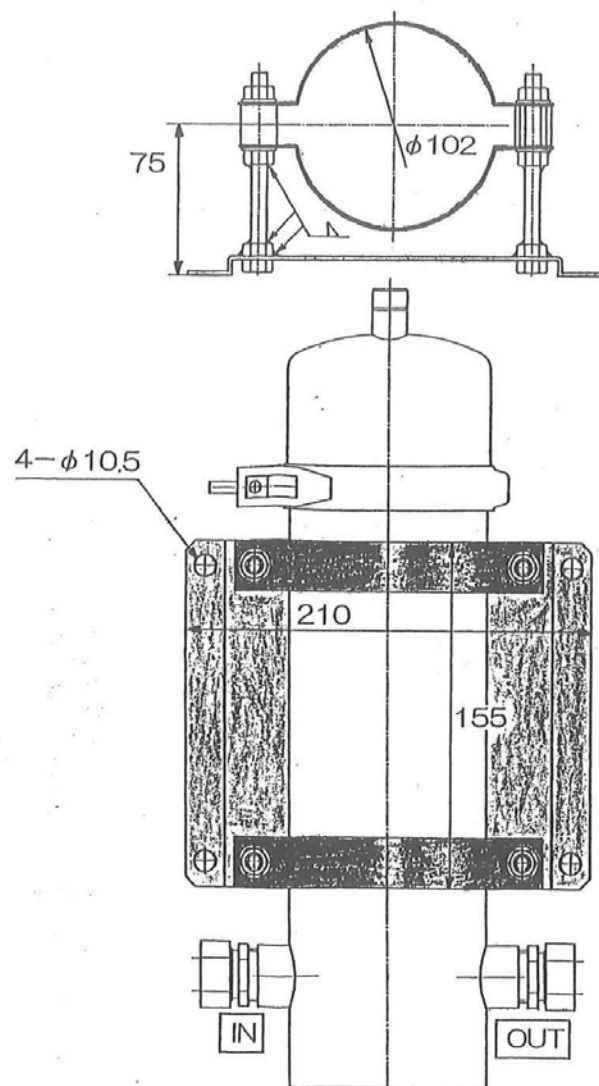
④本体転倒防止として、アンカーボルト等で固定してください。

⑤接続箇所及び本体より水もれがないか通水して確認してください。

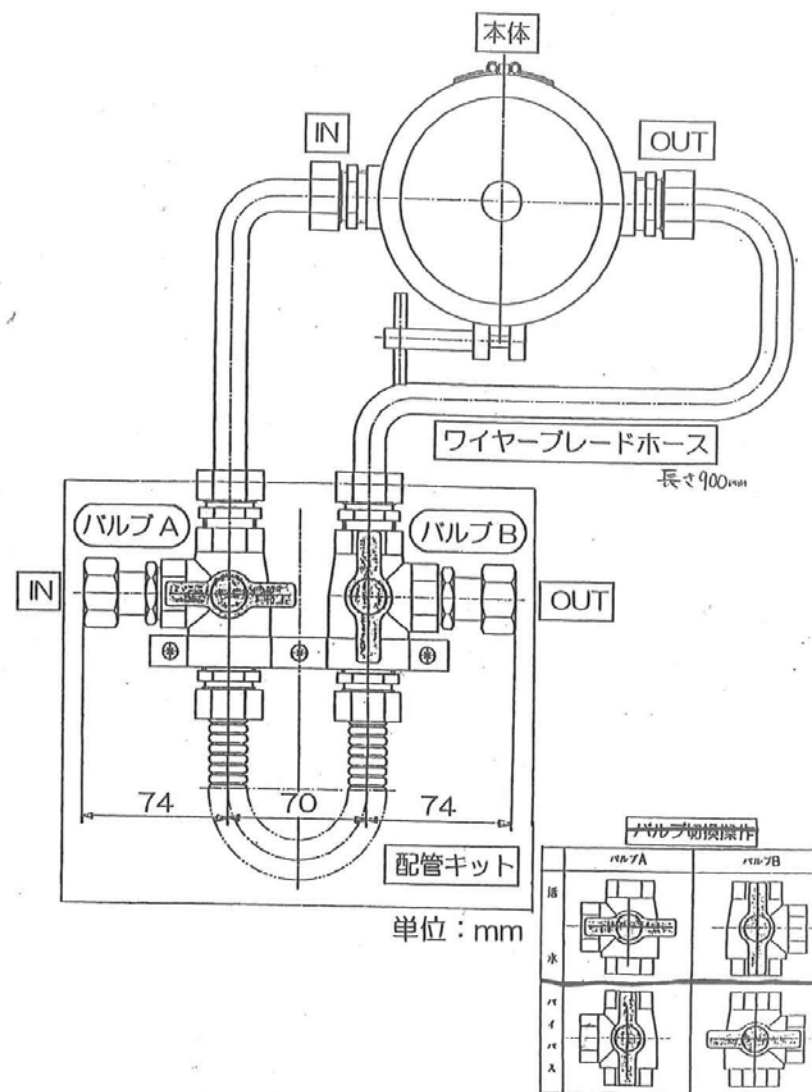
⑥本体及び配管部は保温材にて保護処理を行ってください。

< F F C 元始活水器マンション用 >

< 取付台座 >



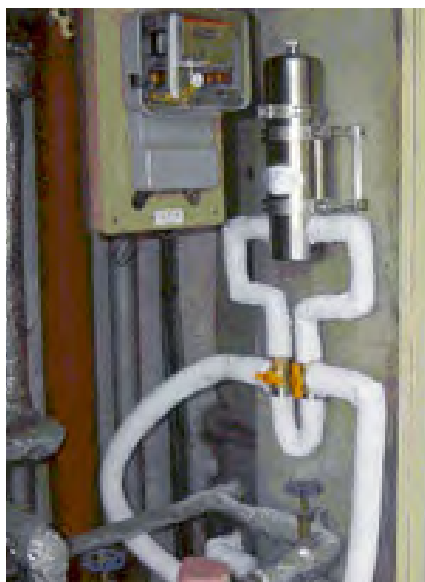
< 参考配管図 >



設置例



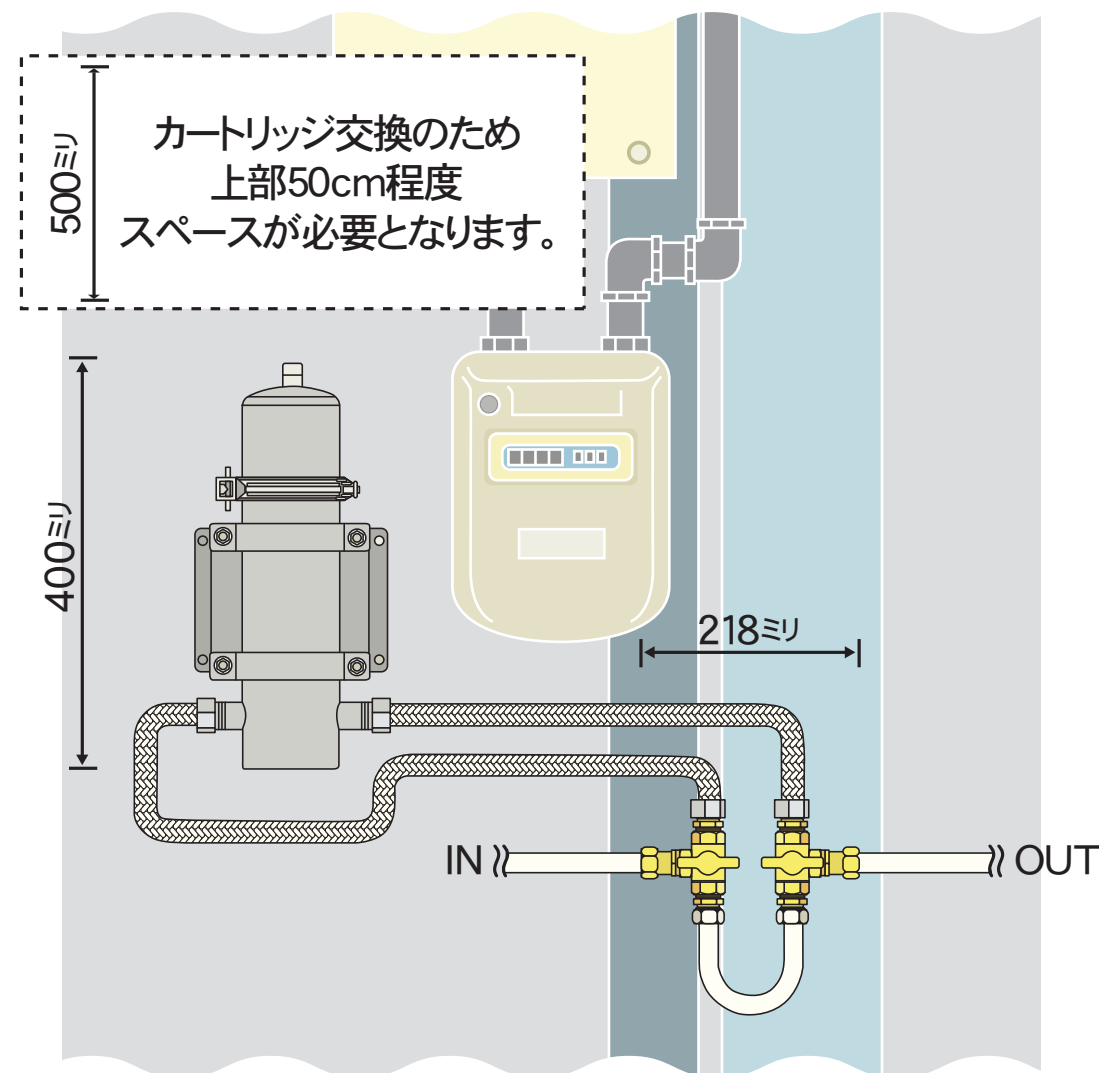
[設置例①]



[設置例②] 配管保護有

※狭い空間をうまく利用するために、取付台座が同梱されており、壁面に固定、また本体を寝かせて床面にも対応しております。

配管設置イメージ



FFC 元始活水器

カートリッジの取付(交換)

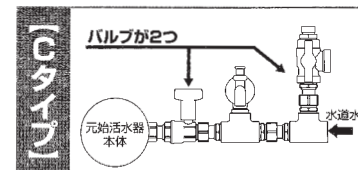
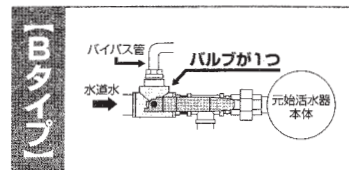
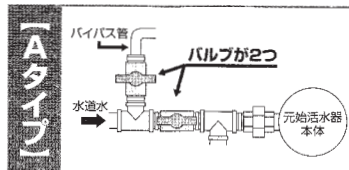
元始活水器をご愛用いただき、誠にありがとうございます。

重要

カートリッジ交換にあたり、バルブ操作を確実に、事故に注意して交換してください。

ご注意

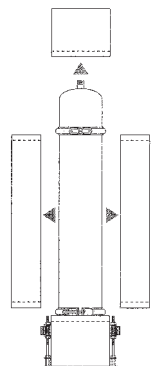
給水側バルブには下図のように、【Aタイプ】と【Bタイプ】と【Cタイプ】があり、バルブ操作の仕方が異なりますので、この手順書をよくお読みいただき、正しい方法で交換作業を行なっていただきますようお願いいたします。



手順.1

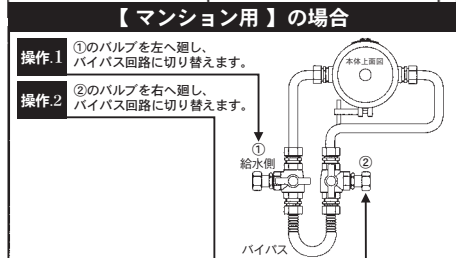
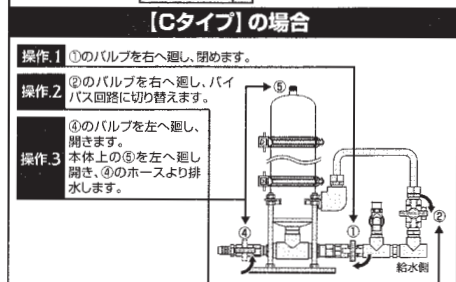
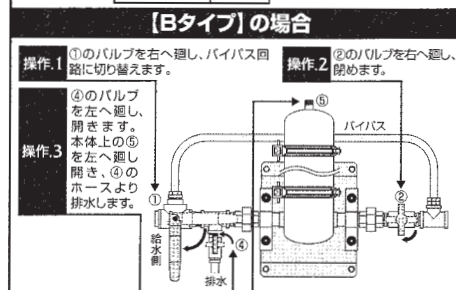
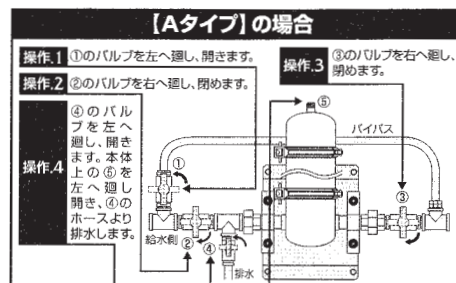
発泡スチロールを外します。

袋を外してから、発泡スチロールを外します。



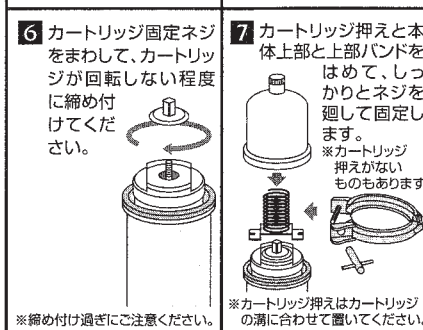
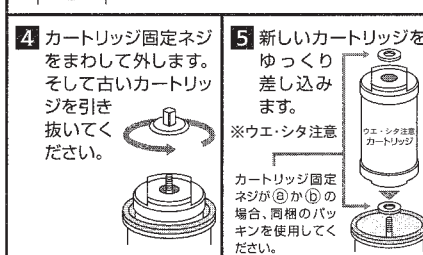
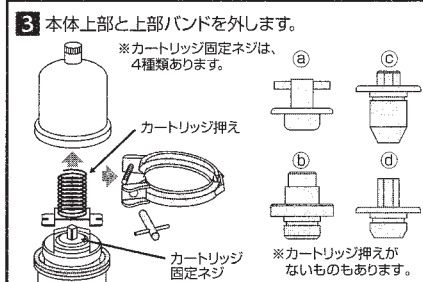
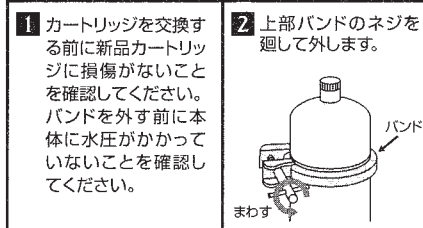
手順.2

給水バイパスに切替えます。



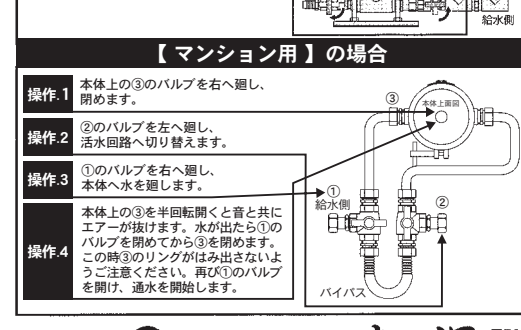
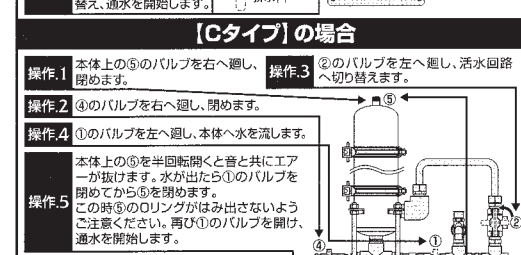
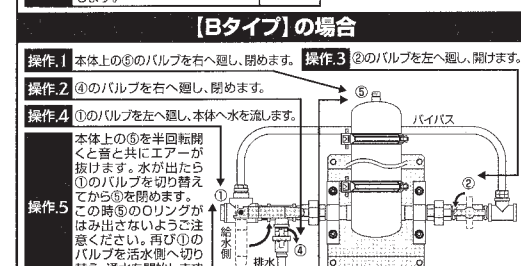
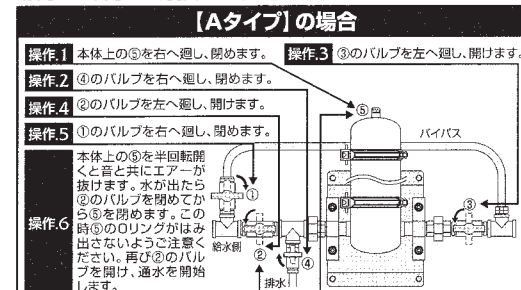
手順.3

カートリッジを交換します。
【Aタイプ】・【Bタイプ】・【Cタイプ】とも同じです。



手順.4

給水を活水に切換え、水漏れをチェックします。



手順.5

発泡スチロールを取付けます。

今一度水漏れがないことを確認してください。そして、発泡スチロールを取付け、袋を取付けます。



ご注意

カートリッジ取付(交換)後は、別紙の工事要領書に従って設置してください。



株式会社 赤塚

〒514-2293 三重県津市高野尾町1863-1
TEL (059) 230-1310 FAX (059) 230-1219